

令和2年度(令和元年度実施事業分)事務事業評価評価票							No.	31-001
PDCA	事務事業名	新美南吉記念館一般事務	部課等名	教育部 博物館 新美南吉記念館	担当	神谷	内線等	26-4888
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第5章 育ち合い共生を進めるまち 節： 第2節 生涯学習の推進 基本施策： 3. 文化の継承と創造 単位施策： (3) 新美南吉の顕彰と南吉文学の普及 個別施策： ②児童・生徒への学習支援						
	根拠法令等	—						
	対象・目的	・南吉研究者、来館者等に適切な情報伝達ができるようにする。 ・年代に応じた様々な講座等を実施し、より多くの人に南吉とその文学のすばらしさを知ってもらう。 ・顕彰事業（講演会、彼岸花植栽、ガイドボランティア等）を補助することで、南吉の名を全国に広める						
	目的を達成するための手段・活動内容	・新美南吉とその文学に関する調査、研究及び資料の収集、整理、保管等・各講座、教室等の企画、開催 ・来館者の案内、レファレンス等 ・新美南吉顕彰会へ顕彰事業補助要綱により、補助金を交付 ・なんきち出前講座（館長または学芸員が学校に出向き、南吉に関する話をする）						
	D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	29年度	30年度	元年度	単位	
①各種講座・教室等の開催回数			72	74	75	回		
②展示ガイドボランティア実施回数			121	110	120	回		
事業費			8,654	7,555	10,842			
人件費			9,740	10,810	10,402			
総事業費			18,394	18,365	21,244			
活動単位当たりのコスト			29年度	30年度	元年度	単位		
①開館1日あたりの南吉記念館運営コスト（一般財源）			9,143	17,573	19,425	円		
②各種講座、教室等参加者1人あたりの開催コスト（出前講座、テレビ授業除く）			678	1,258	1,546	円		
③なんきち出前講座・テレビ授業受講者1人当たりのコスト			473	1,882	1,937	円		
成 果		成果指標	29年度	30年度	元年度	単位		
		①新美南吉記念館年間入館者数	実績値	60,931	53,295	54,637	人	
			目標値	60,000	63,000	63,000		
		②各種講座・教室・朗読会等の参加人数	実績値	2,923	3,898	3,131	人	
			目標値	2,600	2,600	4,000		
		③展示ガイドボランティア案内人数	実績値	7,044	6,162	4,873	人	
			目標値	5,500	7,000	7,000		
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性			
		①市の関与の妥当 妥当	④上位施策への貢献 大きい	⑦コスト削減余地 ない				
		②市民ニーズ 高い	⑤成果向上の余地 ある	※対象・手段の変更				
	事業の評価・課題	③休廃止の影響 大きい	⑥類似事業の有無 ない	⑧受益者負担適正化余地 ない				
		A 新美南吉に興味をもってもらう「きっかけ」として、また、南吉愛好家に更に理解を深めてもらえるように、各種講座・教室を充実させ、参加者の満足度を向上することができた。展示ガイドボランティアが無理なく楽しんで活動できる良好な信頼関係ができています。						
A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	改善推進 南吉に関する講座、朗読会、企画展などを継続して行っていく。各種事業を充実させるため、地域、地元企業、有識者、ボランティアと連携を強化し、常に新しい魅力の発掘、発信に努め、市民の来館者数の増加を重点目標にする。						
		令和2年度の目標	成果指標	目標値			単位	
	①新美南吉記念館年間入館者数		63,000			人		
	②各種講座・教室・朗読会等の参加人数		4,000			人		
	③展示ガイドボランティア案内人数	7,000			人			